



六中だより

米沢市立第六中学校
第 2 号
令和3年4月12日

令和3年度入学式が行われました

4月8日(木)に新入生54名を迎えての入学式が挙行されました。参列者は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、最小限の内容と参列者での実施でした。

式辞

柔らかな日差しに、春の確かな訪れを感じる希望に満ちたよき日に、本校父母と教師の会会長 井上和弘 様のご臨席を賜り、令和3年度の入学式を挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

54名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日の日をさぞ心待ちにしていたことと思います。2・3年生、そして教職員一同、皆さんの入学を歓迎いたします。

さて、これから六中で学ぶ3年間をより充実したものにするために、心に留めてほしいことがあります。それは『六中SDGs』という言葉です。

今 世間で広く言われている「SDGs」は、2030年まで達成すべき世界共通の目標のことですが、『六中SDGs』は、学校生活を送るうえでの六中生の心構えとして今年度設定したものです。意味を説明すると、『六中SDGs』のSは「すすんで」、Dは「誰かのために」、Gは「我慢強く」「がってしない」、sは「視野を広く」を表します。

皆さんには この『六中SDGs』の心で、授業や体育祭などの行事、生徒会活動、部活動などに精一杯取り組んでほしいと思います。そしてその中で大いに自分を鍛え、将来の夢や希望する進路の実現に必要な力を身につけてほしいと願っています。さらには、将来に渡って誰もが幸せに生活できる社会＝自分も幸せで自分の近くの人も幸せ、その周りの人もみんな幸せ、その幸せがずっと続く米沢市や山形県、ひいては日本や世界をつり上げる…そんなことを考え実行できる人になってほしいと期待しています。

結びに、保護者の皆さま、お子様のご入学、誠にありがとうございます。かけがえない大事なお子様が さらに大きく成長できますよう 教職員が一丸となって教育に当たってまいります。今度とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆さんの大いなる成長を期待して式辞といたします。



令和3年4月8日

米沢市立第六中学校 校長 田畑広志

新入生代表挨拶

1年1組 尾形美来さん

春の訪れが感じられる今日のおきに、私たちは米沢市立第六中学校に入学できたことを心から嬉しく思います。54名の仲間と共にそれぞれの夢や希望を抱き、私たちは今、中学校生活のスタートを走り出しました。

私たちは、これからの3年間、勉強や部活動に力を入れて取り組んでいきます。勉強は中学で本格的に始まる英語の授業が楽しみです。私には、将来、外国人と通訳なしで話すという夢をかなえるため、単語や文法・発音をしっかりと学んでいきます。中学校では、各教科専門の先生による授業となります。より広く、より深く学ぶことがとても楽しみです。

大好きな陸上競技も大会に出場してみたいです。取り組んできた短距離をがんばって、さらに自分の限界に挑戦し、良い記録を出したいです。先生や先輩方の教えてくださることをよく聞き、練習に励みます。また、仲間と切磋琢磨し合う中で、競技力の向上だけでなく、精神面でも成長できるようにしたいです。

最後に、私が中学校での目標を考える時いつも思い出す光景があります。それは昨年9月、中学校体験入学時に見学した社会の授業の一場面です。政治について「自分ならどう考えるか」という活発な意見交換がなされ、いろいろな考えを聞くことで更に深い学びにつながっていました。そして、自分の言葉でまとめ、堂々と述べる先輩方の姿に、当時小学生だった私はただただ圧倒されました。私も先輩方のように自分の考えを持ち、自分の意見としてしっかり主張できる中学生を目指したいと思います。

新型コロナウイルスが猛威をふるい、様々な活動が制限される厳しい状況が続きます。その困難にもめげずに、前向きに努力を続けていくことは、私たちにとって大きな経験となるはずです。私たち新入生一同、今日のこの気持ちを忘れずに、将来の夢や目標の実現に向けて、これからの3年間努力を積み重ねることを誓って、新入生代表の言葉といたします。

